

社会 その1 (4枚のうち)

11	受験番号
中	

次の問題文を読んで、後の問いに答えなさい。

みなさんは町を歩いていて、いくつも寺が並ぶ風景を見たことはありませんか。日本各地の都市の中に、寺が集中する地区がありますが、それはなぜでしょうか。多くの現代都市のもととなった城下町は領主が住む「城」、武士が住む「武家地」、町人が住む「町人地」、寺社が集中する「寺社地」の4要素から成ります(図1)。現在寺が集中する地区の中には、この寺社地のなごりもあります。では、なぜ城下町には寺社地があるのでしょうか。これには、城下町が生まれた当時の宗教と政治や社会の関係が影響しています。今日は、城下町が登場した戦国時代を中心に、このことについて考えてみましょう。

戦国時代に近畿地方周辺で大きな存在感を示した宗派に、浄土真宗と日蓮宗があります。前者は蓮如(1415～99年)という僧侶が勢力を拡大し、近畿・北陸・東海地方に「寺内町」という都市を建設していきました(図2)。寺内町は、宗教施設と一般人が居住する範囲を堀や土居⁽¹⁾で囲む都市ですが、単なる信仰の場ではありません。寺内町の多くは河川沿いなど交通や流通の重要地点につくられ、さらに守護などから税の免除やさまざまな特権を得たため商業が盛んでした。また浄土真宗は、京都で流行していた演劇を宗教行事に取り入れ、布教に利用しており、寺内町の一つ山科(京都郊外)は商業のほか、歌や踊りの見物も盛んでした。このように寺内町は、地域における経済や文化の中心地で、時には後述する「一向一揆」の拠点にもなりました。1532年に山科が滅ぼされた時、残された財宝が山のようなようだった、と伝えられています。これら寺内町の頂点に位置するのが、浄土真宗の中心的寺院である本願寺が置かれた石山(大阪)でした。石山は、1562年の火事で2,000軒の家屋が焼失したとされるほど、多数の人びとが居住する大都市でした。本願寺がある戦国大名と長期間(1570～80年)戦えたのは、各地の信者の支援によるところも大きいのです。

一方京都市中では日蓮宗が盛んで、戦国時代に同宗寺院が急増していました。本願寺は幅6m、深さ3mの堀を持つ城のような寺で、数千人の信者が居住していましたし、有名な本能寺も同様と推測されています。ある記録には「日蓮宗の人びとが巡回している。(中略)約一万人で、馬に乗った人も四百人ほどだ。全て町人である。武器のほか、驚くばかりである」とあり、一時は日蓮宗信者が行政を担うほどでした。また、少数ですが日蓮宗も寺内町を建設していました。

こうした両宗による実力行使が、「一向一揆」「法華一揆」で、一向一揆は活発に活動しました。例えば「堺で三好元長⁽²⁾の一族が殺害された。(中略)細川晴元⁽³⁾の命令である。本願寺が協力し、一揆二十一万人が攻めたという」とする記録にそれがうかがえます。また法華一揆も、細川晴元の要請で一向一揆と戦いました。1488年に加賀国(石川県南部)の守護を滅ぼし、「百姓が持つ国」と評された加賀一向一揆のような例もあります。このように、両宗派は戦国大名に劣らない政治勢力でした。

一揆が活発だった戦国時代を終わらせた豊臣秀吉は、「御土居」で京都を囲んだほか、寺社や公家、武家屋敷を移転させたり、本願寺を京都に移転させたりするなど、京都を大改造しました(図3)。この頃日本にいたキリスト教の宣教師フロイスは、著書『日本史』に次のように記しています。

「関白は町の中心部にあった彼らの寺院・屋敷・僧院をことごとく取り壊し、それらを町の周囲の壁に近いところで、すべて順序よく新たに再建するように命令した。」

「関白がそのようにした(注:本願寺の京都移転)のには、もとよりいくつかの理由があった。(中略)信者の激しい出入によって、都の町がますます拡大し、人口を増し、豊かになるのを欲したこと。(中略)将来におけるなんらかの不穏な動きを抑制するために、自らの許に留め置くことを望んだからである。だが町の周囲に垣を設けたり、濠を造ることを許可しなかった。」

全国の城下町でも、同様な意図により寺院が城下の一面に集められます。こうして寺社地が成立しました。

江戸時代になると、仏教の諸宗派は政治的勢力を失い、幕府によって統制されるようになりました。一般には、この時代に仏教は墮落し、「葬式仏教」と批判される現代につながる状況が生まれる、と言われてきました。しかし現在では、それを否定する研究もされています。明治時代になると、特に明治の初め頃に政府が仏教を抑圧したため、仏教は厳しい状況に置かれることもありました。現代の日本では仏教も含めて宗教が日常的に意識されることはあまりありませんが、世界各地では紛争の主な原因の1つになっているほど宗教は重要な存在です。私たちは、これまでの日本のあり方や世界に対する理解を深めるためにも、宗教についてさらに考える必要があるのではないのでしょうか。

(1) 土居:土を盛り上げてつくった土手。堤。

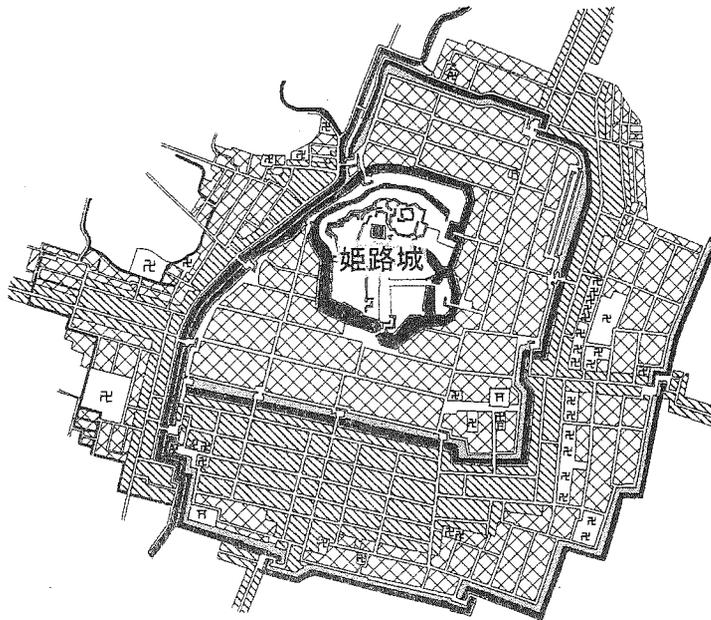
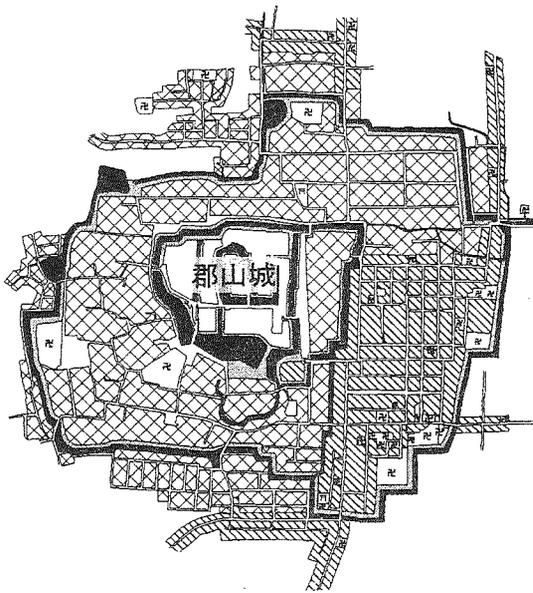
(2) 三好元長(1501～1532年)、(3) 細川晴元(1514～1563年):ともに戦国時代の武将。

社会 その2 (4枚のうち)

11	受験番号
中	

大和郡山 (やまとこおりやま) / 奈良 (なら) 県

姫路 (ひめじ) / 兵庫 (ひょうご) 県



記号の例

- 武家地
- 町人地
- 寺社地
- 土居・堀など
- 堀

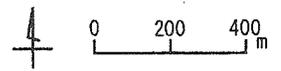


図1 城下町の例 (『図集 日本都市史』東京大学出版会、より)

参考図：
久宝寺(きゅうほうじ)・寺内町

記号の例

- 海岸線 (湖岸線)
- 旧国境
- 寺内町
- 河川

図2 寺内町の分布

(『日本都市史入門 I 空間』東京大学出版会、より)

記号の例

- 公家地
- 武家地
- 寺社地
- 土居
- 堀
- 主な街路
- 白い部分は町人地など

御所：天皇のいるところ

図3 1630年ころの京都

(『図集 日本都市史』東京大学出版会、より)

社会 その3 (4枚のうち)

11	受験番号
中	

問1 図1の2つの城下町図を見比べて、共通する点を答えなさい。

問2 図2の中の●は近畿・北陸・東海地方にあった主な寺内町の位置を示しています。

(あ) 山科と石山の位置を示している●をそれぞれ選び、記号を記しなさい。

山科	石山

(い) Aの河川の名前を記しなさい。

問3 平安時代には天台宗と真言宗の2つの宗派が朝廷と密接な関係を結び、大きな勢力をほこっていました。

(あ) 両宗の寺院の中で、京都の近くにおいて最も強い影響力を持っていた寺院は何ですか。

(い) 平安時代末期から鎌倉時代にかけて、浄土真宗や日蓮宗などの新しい宗派が成立しました。新しい宗派を開いた僧侶を日蓮以外で1人挙げなさい。

問4 浄土真宗が布教に利用した、室町時代に人気があった演劇とは何ですか。

問5 1570年から1580年にかけて、石山本願寺と激しく戦った戦国大名は誰ですか。

社会 その4 (4枚のうち)

11	受験番号
中	

問6 豊臣秀吉が寺院を移転、集中させた理由を説明しなさい。

問7 江戸時代に仏教が「墮落」したとしたら、それはなぜでしょうか。江戸幕府の宗教政策とも関連させて説明しなさい。

問8 明治時代の初め頃に、仏教が政府によって抑圧されたのはなぜですか。

問9 現代の「宗教」と「政治や社会」との関係は、城下町が生まれた当時の状況とどのように違いますか。君の考えを書きなさい。